



すがわら しょうた
菅原 翔太さん (18歳)
 横道上在住

8歳から奥州市水沢の絵画教室に通い、パステルやアクリルで静物画や風景画を描く。ことし3月には、奥州市のめんこい美術館で10年間の作品約160点を展示する初の個展を開いた。春から地元企業に就職。趣味はランニングや筋力トレーニング。祖父母、両親と5人暮らし。

楽しかったからこそ 続けてこられた絵を描くこと



エレキギターを題材とした、お気に入りの絵画を紹介してくれた翔太さん。

8歳のときにスクールカウンセラーの紹介で絵画教室に通い始めた翔太さん。発達障害を抱える翔太さんが小さい頃から大好きで没頭していたのが「絵を描くこと」だった。

奥州市水沢の絵画教室に毎週通い、パステルやアクリル絵の具、鉛筆などを使いながら、教室内の花や野菜などの静物画や風景画を描いた。翔太さんが高校を卒業するまでに描いた作品は約160点にも及び、個展を訪れた人に感動を与えている。

10年間も続けることができたのは「絵を描くことが楽しかったから」と話す翔太さん。中でも鉛筆で下書きを描く作業が一番好きで、全体のバランスや構図を考えながら自分が納得するまで修正できることが魅力だという。

印象に残っている作品は、中学3年生の時に描いた絵画教室内の風景画。椅子や机の細部から、全体の色のバランスにまでこだわった力作で、賞も受賞した。

就職後も絵を描くことを続けていきたいと話す翔太さん。「今まで頑張ってきたことを無駄にしたくない」と更なる技術の向上を目指す。

今後描いてみたい題材は、中学3年生の時に描いた教室内の風景画。当時と今とで、自分の表現がどのように変わっているのかを見るのが楽しみだと笑顔で話してくれた。

広報日記



広報担当4年目になりました。皆さんに必要な情報が少しでも分かりやすく伝わるよう努めますので、本年もどうぞよろしくお願ひします。

さて、ことしは桜の開花が早く、4月はじめには満開となっているところが多くみられました。天気が良い日も多く、花見を楽しんだ人も多かったのではないのでしょうか。4月の広報紙に桜の写真が間に合うのも珍しいです。入学式に写真撮影にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。(村口)



町公式 LINE
 情報発信中

人口と世帯		3月31日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,129人	(- 22)	
男	7,782人	(+ 4)	
女	7,347人	(- 26)	
世帯数	6,254世帯	(+ 30)	

